

# 2022 栃木国体

第4日

第77回国民体育大会「いちご国体」は第4日の4日、栃木県内各地と千葉市で14競技を行った。県勢はサッカー少年男子で、青森山田高の1年生を中心としたチームが準々決勝で宮城に3-0と完勝し、2018年以来の4強進出。フェンシングは成年男子サーフルで3回戦へと駒を進めた。卓球成年女子は1次リーグD組で2勝1敗の2位となり、5位入賞。レスリングは少年男子グレコローマンスタイル51kg級で久保静夜（野辺地西高）が8強入りしたが、準々決勝で敗退した。剣道は成年男子が初戦を突破したものの2回戦で宮崎に敗れた。（成田亮、吉田希望）

## 久保ベスト8 少年51kg級



【レスリング少年男子グレコローマンスタイル51kg級  
2回戦】相手に投げ技をかける野辺地西の久保静夜  
UKAI SQUARE GARREDN 足利

最初で最後の全国勝利  
○：レスリング男子グレコローマンスタイル少年51kg級で8強入りし、県勢最高成績を挙げた久保（野辺地西3年）。初戦は得意の俵返しを決めるなど連続ポイントを取って、テクニカルフォール勝ちを収めた。しかし、準々決勝は1ポイントも奪うことができず力負け。全国大会で初勝利を挙げ、日程を終えた。今大会で競技を引退するという久保は「全国で勝つことはうれし。最後もやりきった試合だった」とすがすがしい表情だった。